2023年度全国通訳案内士試験（国家試験）

英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、韓国語、タイ語

願書受付期間：6月1日（木）～7月10日（月）

筆記試験：8月20日（日）　口述試験：12月10日（日）

観光庁長官試験事務代行機関　独立行政法人国際観光振興機構【通称：日本政府観光局（JNTO）】

施行要領

目　次

1.　試験科目……2
　(1) 筆記試験……2
　(2) 口述試験……2
2.　試験日時、受験資格、受験地、結果通知について……2
　(1) 筆記試験……2
　(2) 口述試験……3
3.　願書の申請期間及び申請方法等……4
　(1) インターネットによる電子申請……4
　(2) 写真について……7
　(3) 申請後の変更について……8
　(4) 二ヵ国語受験……10
4.　受験手数料……11
　(1) 手数料額……11
　(2) 支払方法……11
5.　免除申請について……12
6.　免除申請早見表……14
　(1) 英検免除　(2) TOEIC免除　(3) 仏検免除　(4) 西検免除　(5) DELE免除
　(6) 独検免除　(7) 中検免除　(8) HSK免除　(9) 伊検免除　(10) ハン検免除
　(11) TOPIK免除　(12) 旅取免除　(13) 歴検免除　(14) センター日本史Ｂ免除
　(15) センター現代社会免除　(16) 前年度一部合格科目免除　(17) 前年度5科目合格者免除
　(18)（他の外国語での）既合格者免除　(19) 地域限定通訳案内士試験合格者免除
7. 受験願書の入力方法……17
8. 受験票の交付……18
9. 試験当日の注意事項について……18
10.　合格後の手続き……18
11.　お問い合わせ先……19
12.　個人情報保護方針について……19
13. よくある質問（Q&A）……20

施行要領には最終合格発表までのことが書かれています。全ての試験が終了するまで保管してください。

試験実施に関し、変更がありましたら、日本政府観光局（JNTO）ホームページ
「2023年度全国通訳案内士試験」に掲載しますので、適宜、御確認ください。
https://www.jnto.go.jp/projects/visitor-support/interpreter-guide-exams/exam.html

１．試験科目

（１）筆記試験＜全科目マークシート方式＞

午前①　外国語（10 か国語から選択）

英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、韓国語、タイ語

午後②　日本地理

③　日本歴史

④　産業・経済・政治及び文化に関する一般常識

⑤　通訳案内の実務

（２）口述試験

通訳案内の実務（通訳案内の現場で必要とされるコミュニケーションを図るための実践的な能力について、選択した外国語により判定）※選択外国語は、筆記試験と同一とする。

２．試験日時、受験資格、受験地、結果通知について

(1) 筆記試験

・試験日時

2023 年 8 月 20 日（日）

試験科目	開場時間	着席時間（説明開始）	試験時間
外国語	10：00	10：45～11：00	11：00～12：30（90 分）
昼休み（12：30～13：10）			
日本地理	13：10	13：30～13：40	13：40～14：10（30 分）
日本歴史	－	14：30～14：40	14：40～15：10（30 分）
一般常識	－	15：30～15：40	15：40～16：00（20 分）
通訳案内の実務	－	16：20～16：30	16：30～16：50（20 分）

※試験時間は変更になる場合があります。

詳細は電子申請システムトップページ及び受験票にてご確認ください。

・受験資格

年齢、性別、学歴、国籍等に関係なく、どなたでも受験できます。

・受験地

札幌市、仙台市、東京近郊、名古屋市、大阪近郊、広島市、福岡市、沖縄県

※試験会場については８月上旬に電子申請システム内の個人ページ（以下、【マイページ】）に公開する受験票でお知らせします。郵送による交付はありません。

※試験会場に直接電話等で照会することは、固くお断りします。

・筆記試験結果通知

2023 年 9 月 29 日（金）予定

受験者全員に結果をマイページにて公開します。郵送による交付はありません。

（※口述試験に進む方の受験票は、筆記試験結果通知とは別に 11 月中旬にマイページにて公開予定です）

(2) 口述試験

・試験日時

2023 年 12 月 10 日（日）

※試験会場及び試験時間は 11 月中旬に【マイページ】で公開する口述試験受験票でお知らせします。

郵送による交付はありません。

・受験資格

筆記試験に合格した方（筆記試験を免除される方を含む）が受験できます。

・受験地

英語・中国語・韓国語	東京近郊、大阪近郊、福岡市 ※筆記試験を東京近郊・大阪近郊・福岡市で受験された方は同一地域
英語、中国語、韓国語以外の外国語	東京近郊

※二カ国語受験者は、二カ国語ともに同一の受験地・試験会場です。

※英語、中国語、韓国語を選択された方で、筆記試験を

「**札幌市、仙台市、名古屋市、広島市、沖縄県**」で受験された方は、口述試験受験地を

「**東京近郊、大阪近郊、福岡市**」から選択していただきます。

※試験会場は 11 月中旬、【マイページ】に公開する口述試験受験票にてお知らせします。

・口述試験結果通知

2024 年 2 月 2 日（金）予定

① 官報にて合格者氏名及び受験番号を公開します。

「官報ウェブサイト」 http://kanpou.npb.go.jp （発表日から一定期間のみ閲覧可能）

② 受験者全員に結果をマイページにて公開します。

最終合格者には全国通訳案内士試験合格証書を、不合格者のうち筆記試験に合格した者には筆記試験合格証書を、それぞれマイページで交付します。※郵送による交付はありません。

※筆記試験合格証書は 1 科目でも免除科目が含まれる場合は交付されません。

【マイページ】での合格証書交付期間：2 月 2 日（金）～2 月 29 日（木）

※【マイページ】は 2024 年 3 月 1 日（金）より閲覧できなくなります。合格証書の出力を済ませ、筆記試験結果等の必要事項は必ず自身でお控えください。なお、閲覧停止後の再閲覧や掲載情報の問い合わせ等には応じられませんのでご注意ください。

３．願書の申請期間及び申請方法等

申請方法はインターネットによる電子申請受付のみとなります。

※印刷物による願書等の配付は行っておりません。

※封書にて印刷版願書・施行要領等の送付請求がなされた場合、受取拒否をさせていただきます。
予めご了承ください。

（1）インターネットによる電子申請

①申請期間

2023 年 6 月 1 日（木）10：00　～　7 月 10 日（月）23：59（日本時間）

※7 月 11 日（火）0：00 以降は願書を提出（電子申請）することができません。

※申請期間内であればいつでも申請可能ですが、**申請期間を過ぎると申請不可となります。**
7 月 10 日（月）23：59 時点で申請が完了していない場合、申請は無効となりますので
ご注意ください。

＜電子申請に関する注意事項＞

○メールアドレスについて

・メールアドレスのご登録が必須です。ご自身のメールアドレスをご用意ください。

・メールアドレスを重複してご利用いただくことはできません。
代理人の方が自身のメールアドレスを用いて複数人の代理申請をすることはできません。

○申請情報の入力、申請書類について

・申請情報は出願者本人が入力してください。
入力代行に起因する誤入力についても変更、修正、追加は一切認められません。

・願書提出後の「受験外国語、受験地、免除申請」の変更・追加はできません。

・複数の受験申請をした（複数の願書を提出した）場合、すべての受験申請を無効とします。

・免除申請書類は電子申請時にアップロードしていただきます。書類を画像化し、パソコンや
スマートフォン等に保存するなどしてご用意の上、電子申請を行ってください。
（画像化はスキャン機能を使用した PDF や JPEG が望ましいですが、撮影した写真でも可能です。
但し、画像が不鮮明で審査できない場合は免除申請を受理できない場合があります）

○配慮申請について

・身体の障がい等により特別手配が必要な方は、必ず電子申請時に希望する配慮事項と配慮が
必要な理由を入力してください。診断書の提出が必要な場合があります。
また、補聴器等の使用機器がある場合は使用機器の名称や品番等も合わせて入力をお願いします。

②申請方法

以下にアクセスして入力画面の指示に従って申請してください。

電子申請システムトップページ　https://shiken.jnto.go.jp/

※2023 年度全国通訳案内士試験に関するページからもアクセス可能です。

https://www.jnto.go.jp/projects/visitor-support/interpreter-guide-exams/exam.html

申請手順

電子申請システム（https://shiken.jnto.go.jp/）にアクセス

↓

メールアドレス登録　※重複登録不可
※代理人の方が自身のメールアドレスを用いて複数人の代理申請を行うことは不可

↓

受験者情報・写真データの登録

↓

受験科目・受験希望地・免除申請の登録
免除科目の選択と必要な提出書類のアップロード（免除申請する場合のみ）

↓

受験手数料支払い手続き

↓

願書提出

↓

願書受領のお知らせ
願書が提出されると自動返信メールで「願書受領」のお知らせをいたします。

↓

【事務局確認】
申請書類審査完了後、メールで「承認」のお知らせをいたします。
※不備がある場合は、メールまたは電話でご連絡いたします。
※「承認」された方のみが受験できます。

【本籍・国籍・氏名・生年月日】

・本籍、国籍、氏名、生年月日は、以下の入力要領に従って入力してください。
（入力内容に誤りがあると、試験に合格しても都道府県知事の登録を受けることが出来ない場合があるのでご注意ください。受験票や結果通知、合格証書など試験関連書類は、戸籍どおりの漢字を印字できない場合、カタカナ等に変更されることがあります。予めご了承下さい）

・本籍、国籍はプルダウンメニューより選択してください。プルダウンメニューにない国籍の場合は「その他」を選択し、国籍を入力してください。

（入力要領）	本籍・国籍	氏 名	生年月日
日本国籍を有する日本居住者	本籍の都道府県を選択	日本語で入力	西暦
	戸籍に記載されている本籍都道府県名・氏名・生年月日		
外国人登録を受けた者（日本居住者）	国籍を選択または入力	ローマ字（Roman Alphabet）で入力	西暦
	在留カードに記載されている国名等・氏名・生年月日 （漢字氏名が記載されている方は漢字も可）		
日本国籍並びに外国籍の日本非居住者	日本国籍の方：「Japan」を選択 外国籍の方：国籍を選択または入力	ローマ字（Roman Alphabet）で入力	西暦
	パスポートに記載されている国名等・氏名・生年月日		

〔注〕外国籍の受験希望者の方へ

受験するために日本に入国する際に、査証発給のための招聘状発行や身元保証等の手続きが必要となる場合、事務局ではそれら手続きに関する事務には対応いたしかねますのでご了承ください。

【住所・連絡先】

・現住所欄には、日本居住者は住民票または在留カードの記載どおりに入力してください。
住所を入力する際は都道府県名も入れて下さい。
（外国居住者は国名を含めて入力してください。電話番号は国番号を含めて入力してください）

・緊急連絡先欄には日中に連絡可能な携帯電話番号、勤務先等の名称を入力してください。
緊急連絡先種別が「その他」の場合は、代理人・家族の氏名等を具体的に入力してださい。

【受験外国語】

・受験外国語欄は全国通訳案内士の資格を取得しようとしている外国語を選んで入力してください。
願書提出後の受験外国語の変更・追加はできません。
※中国語は簡体字と繁体字のどちらかを選択してください。なお、簡体字と繁体字は一部問題が異なる場合があります。

【受験地】

・受験地は以下表中から該当する受験地を選んで入力してください。

表： 受験外国語／筆記・口述試験別 受験地一覧

<table>
<tr><th>受験外国語科目</th><th>筆記試験受験地（選択可）</th><th colspan="2">口述試験受験地（選択制限あり）</th></tr>
<tr><td rowspan="4">英語
中国語（簡体字）
中国語（繁体字）
韓国語</td><td>１．東京近郊</td><td>１．東京近郊</td><td rowspan="3">筆記試験
と同一地域</td></tr>
<tr><td>２．大阪近郊</td><td>２．大阪近郊</td></tr>
<tr><td>３．福岡市</td><td>３．福岡市</td></tr>
<tr><td>４．札幌市
５．仙台市
６．名古屋市
７．広島市
８．沖縄県</td><td colspan="2">１．東京近郊
２．大阪近郊
３．福岡市
から選択</td></tr>
<tr><td>フランス語
スペイン語
ドイツ語
イタリア語
ポルトガル語
ロシア語
タイ語</td><td>１．東京近郊
２．大阪近郊
３．福岡市
４．札幌市
５．仙台市
６．名古屋市
７．広島市
８．沖縄県</td><td colspan="2">１．東京近郊</td></tr>
<tr><td>すべての外国語</td><td>９．免除
筆記試験免除の方は筆記試験受験地に「免除」を選択
・すべての科目の免除申請を行う方
・2022 年度筆記試験合格証書をもち、筆記試験免除申請をする方</td><td colspan="2">１．東京近郊
２．大阪近郊
３．福岡市
から選択
※英語・中国語・韓国語以外は東京近郊のみ</td></tr>
</table>

※二カ国語受験者は、二カ国語ともに同一の受験地・試験会場です。

※二カ国語受験する方で、受験外国語に英語、中国語、韓国語以外の外国語が含まれる場合、
口述試験受験地は**東京近郊**となります。

※願書提出後の受験地の変更はできません。

※英語、中国語、韓国語を選択された方で、筆記試験を
「札幌市、仙台市、名古屋市、広島市、沖縄県」で受験された方は
口述試験受験地を「東京近郊、大阪近郊、福岡市」から選択していただきます。

（２）写真について

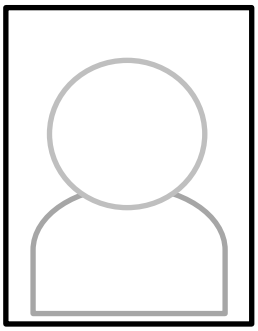
写真は電子申請システム内にアップロードしてください。
（アップロードとはパソコンまたは携帯電話・スマートフォン内の画像ファイルを送信することです。
電子申請システム内の「写真をアップロード」ボタンをクリックすると画像の選択・保存ができます）
試験会場で本人確認をする際に用いますので、**履歴書に貼り付けるような、顔がはっきり判別できる写真データをアップロードしてください。**

写真の形式は JPEG（ジェイペグ）によるファイルサイズ 10ＭＢ（メガバイト）以下のデジタル写真とし、規定サイズ内の写真を用意してください。（縦・横のサイズはアップロード時に自動調整します）
なお、携帯電話・スマートフォン等で撮影したものでも構いませんが、以下の規定は厳守してください。

【写真サイズの規定】

240 ピクセル（3cm）

320
ピクセル
（4cm）



【写真内容の規定】

〇カラー又は白黒で、**申請日より 6 カ月以内**に撮影したもの
〇縦 320 ピクセル×横 240 ピクセル（縦 4cm×横 3cm）
〇無帽、無背景、白無地
〇ご本人のみが写っているもの
〇受験時に眼鏡を使用する場合、眼鏡をかけて撮影したもの
〇正面を向いて本人の肩から上、頭頂部まで顔や輪郭がはっきりと
判別できるもの

※以下のような写真は申請写真として認められません。

×前髪で目や顔が隠れてしまうようなもの
×帽子、マスク、サングラス等を着用しているもの
×ほかの人物や動物及び特定できる文字や建物が映っているもの
×背景の色が強いもの
×正面を向いていないもの
×顔の輪郭が枠から出ているもの
×画像が全体的に暗く、顔が特定しにくいもの
×画像が粗く、ぼやけているもの

（３）申請後の変更について

願書申請後、入力した項目内容に変更があった場合は【マイページ】内で変更をしてください。

※メールアドレス、【マイページ】へのログインパスワードはいつでも変更可能です。

事務局から受験に関する情報をメールにてご連絡する場合があるため、常に受信可能なメールアドレスを登録してください。

※【登録変更早見表】の項目に「●要提出書類」と記載のある項目を変更する場合は、変更内容を証明する書類の提出が必要です。該当書類を【マイページ】からアップロードしてください。

※時期により変更できる項目が異なります。変更可能な項目は【登録変更早見表】をご確認ください。

※変更手続きの時期により、受験票・結果通知を変更前の情報で交付する場合があります。予めご了承ください。

＜「●要提出書類」項目（氏名・本籍・国籍）の変更に伴う添付書類＞

変更の際は以下の書類をアップロードしてください。以下以外の書類は原則不可です。

【日本国籍の方】※発行日から６カ月以内のものでいずれか１ つ

氏名または本籍が変更の場合：全部事項証明書（戸籍謄本）・個人事項証明書（戸籍抄本）

婚姻による氏名変更の場合：婚姻届受理証明書

【外国籍の方】※有効期限内のものでいずれか１つ

氏名または国籍が変更の場合：在留カード・パスポート

【登録変更早見表】　※変更可能期間の詳細は電子申請システムにてご確認ください。

変更可能期間	願書 提出前	願書提出後～ 筆記試験受験票交付まで	筆記試験結果発表～ 口述試験受験票交付まで	口述試験受験票交付～ 口述試験結果発表
項目	再提出の 可否	筆記試験受験票 掲載内容の変更	口述試験受験票 掲載内容の変更	合格証書・官報 掲載内容の変更
メールアドレス	○	○	○	○
パスワード	○	○	○	×
氏名　姓	○	● 要提出書類	● 要提出書類	×
氏名　名	○	● 要提出書類	● 要提出書類	×
フリガナ　姓	○	● 要提出書類	● 要提出書類	×
フリガナ　名	○	● 要提出書類	● 要提出書類	×
性別	○	● 要連絡	● 要連絡	×
生年月日	○	● 要提出書類	● 要提出書類	×
本籍	○	● 要提出書類	● 要提出書類	×
国籍	○	● 要提出書類	● 要提出書類	×
郵便番号	○	○	○	○
住所（郵便番号とセット）	○	○	○	○
電話番号・携帯番号	○	○	○	○
FAX番号	○	○	○	○
緊急連絡先種別	○	○	○	○
緊急連絡先電話番号・携帯番号	○	○	○	○
緊急連絡先FAX番号	○	○	○	○
希望する配慮事項	○	○	○	×
希望する配慮事項の根拠書類	○	○	○	×
受験外国語	○	×	×	×
受験第二外国語	○	×	×	×
希望受験地	○	×	×	×
免除科目	○	×	×	×
免除科目添付書類	○	×	×	×

（4）二カ国語受験

受験を希望する二カ国語の内、1つ以上の外国語科目が免除となる場合は二カ国語受験が可能です。

受験科目の免除については、免除申請早見表（P.14）をご参照ください。

	申請	受験外国語	受験第二外国語	申込可否
筆記試験会場での受験・免除	①	受験	**免除**	**〇申込可**
	②	**免除**	**免除**	**〇申込可**
	不可	受験	受験	×申込不可

① 外国語免除科目が１つ

【願書への入力方法】

「受験外国語」　　：筆記試験会場で受験する外国語

「受験第二外国語」：免除申請する外国語

【受験方法】

・「受験外国語」と、「日本地理」「日本歴史」「産業・経済・政治及び文化に関する一般常識」「通訳案内の実務」のうち、免除対象となっていない科目を受験してください。

【口述試験】

・筆記試験に合格した場合、口述試験は同じ試験会場で二カ国語をそれぞれ異なる時間帯に受験します。

	筆記試験結果	口述試験
受験外国語	合格	同じ会場で受験（A時間）
受験第二外国語	免除	同じ会場で受験（B時間）
外国語以外の科目	合格　※免除を含む	－

・筆記試験で受験した外国語が不合格で、「日本地理」「日本歴史」「産業・経済・政治及び文化に関する一般常識」「通訳案内の実務」がすべて合格または免除の場合、「受験第二外国語」（免除申請した外国語）の口述試験のみ受験してください。

	筆記試験結果	口述試験
受験外国語	不合格	受験不可
受験第二外国語	免除	申請した会場で受験
外国語以外の科目	合格　※免除を含む	－

② 外国語免除科目が２つ

【願書への入力方法】

「受験外国語」　　：免除申請する外国語

「受験第二外国語」：免除申請する外国語

【受験方法】

・「日本地理」「日本歴史」「産業・経済・政治及び文化に関する一般常識」「通訳案内の実務」のうち、免除対象となっていない科目を受験してください。

【口述試験】

・筆記試験に合格した場合、口述試験は同じ試験会場で二カ国語をそれぞれ異なる時間帯に受験します。

	筆記試験結果	口述試験
受験外国語	免除	同じ会場で受験（A 時間）
受験第二外国語	免除	同じ会場で受験（B 時間）
外国語以外の科目	合格　※免除を含む	－

４．受験手数料

（１）手数料額

一カ国語受験につき、11,700 円です。二カ国語で受験される方は、23,400 円となります。

※日本円のみ受け付けます。

※原則、領収書の発行はしておりません。必要な場合には<u>願書受付期間内に</u>全国通訳案内士試験事務局までご連絡ください。**願書受付期間を過ぎると領収書の発行はできません**のでご注意願います。

※免除の有無による受験手数料の減額はありません。

※受領した受験手数料は、通訳案内士法 第 10 条の規定により返還いたしません。

（２）支払方法

クレジットカード又はコンビニエンスストアでのお支払いのみ受け付け可能です。

郵便、銀行振替送金でのお支払いはできませんので予めご了承ください。

電子申請システムの入力画面の指示に従ってオンラインで手続きしてください。

①【クレジットカード】

VISA、MASTER、JCB、AMEX、DINERS、DISCOVER が使用できます。

一カ国語受験の場合　12,091 円（受験手数料 11,700 円＋事務手続手数料 391 円）

二カ国語受験の場合　24,178 円（受験手数料 23,400 円＋事務手続手数料 778 円）

②【コンビニエンスストア】

日本国内のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、セイコーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキの店舗でお支払いができます。お近くのコンビニエンスストアにて、支払期限内にお支払いください。期限が過ぎた場合は事務局までご連絡ください。

一カ国語受験の場合　12,007 円（受験手数料 11,700 円＋事務手続手数料 307 円）

二カ国語受験の場合　23,864 円（受験手数料 23,400 円＋事務手続手数料 464 円）

５．免除申請について

免除申請早見表(P.14)の（1）から（19）に該当する方は、筆記試験科目の一部または全部の免除を申請できます（通訳案内士法第７条)。免除申請される方は必ずお読みください。

過去に免除申請を行った方も、今年度試験において免除申請を行う場合は、あらためて申請を行ってください。免除申請に必要な証明書類（合格証明書等）もあらためて提出が必要となりますので、免除申請早見表に記載の該当する証明書類をご用意の上、申込期間内（6 月 1 日～7 月 10 日厳守）に【マイページ】よりアップロードしてください。免除申請書類が期間内にアップロードされない場合は、免除申請は受理されません。

※合格証明書等の入手方法は各試験実施団体にお問い合わせください。

※有効期限を設定している資格があります。(TOEIC・大学入試センター試験)

有効期限外の資格による免除申請はできません。免除申請早見表をご確認ください。

【TOEIC について】

2023 年 4 月試験から導入されるデジタル認定証による申請も有効です。(URL 送付は不可)

いずれの試験日も有効期限内の認定証を受付期間中に申請提出する必要があります。

※2022 年度全国通訳案内士試験で筆記試験を受験し合格した科目は**2023 年度に限り免除申請**ができます。2022 年度試験の結果通知及び免除申請早見表をご確認ください。

※各検定試験実施中止による科目免除申請への特別措置はありません。

※願書提出後の受験科目免除の追加・変更はできません。

※申請期間終了後から筆記試験当日以前に検定試験等に合格した場合や、TOEIC につき基準点数以上の得点を得た場合でも、新たに免除を申請することはできません。

※7 月 11 日（火）0：00 以降は免除申請書類のアップロードならびに願書提出ができません。

○大学入試センターより発行される「開封無効」の書類を証明書類とする方

以下まで郵送でご提出ください。※提出された書類は返却しません。

【「開封無効」書類送付先】開封せずに封筒のままお送りください。開封されている書類は無効です。

「全国通訳案内士試験事務局」※封筒表面に「免除申請書類在中」と朱書きしてください。

送付先住所： 〒277-0831 千葉県柏市根戸 206-3 北柏ビル 2Ｆ

電 話：04-7131-6200（土日・祝日を除く 10：00～17：00)

＜受付期間＞

2023 年 6 月 1 日（木）～7 月 10 日（月）まで

※7 月 10 日（月）消印まで有効。7 月 11 日（火）以降の消印による書類は受理しません。

（消印はポスト投函日の当日に押印されない可能性がございます。ご注意ください)

＜送付方法＞

○日本国内在中の方

「簡易書留」または「レターパックプラス」で送付してください。

※普通郵便やレターパックライト、宅配便等では送らないでください。

信書扱いのため宅配便は受け取ることができません。

○海外在住の方

電子申請後 2 日以内に、居住地にて郵政事務を所掌する官公庁等が取り扱う EMS **便で送付してください。海外在住の方の申請書類は 7 月 12 日（水）着分まで受け付けます。7 月 13 日（木）以降は受理しません。**

※各資格の取得以降に氏名が変更となっている方は、以下の公的な証明書を受験科目選択ページにアップロードしてください。以下の証明書をご用意できない方は事務局までご連絡ください。

＜公的な証明書にあたる書類＞

変更の際は以下の書類をアップロードしてください。以下以外の書類は原則不可です。

【日本国籍の方】※発行日から 6 カ月以内のものでいずれか 1 つ

氏名または本籍が変更の場合：全部事項証明書（戸籍謄本）・個人事項証明書（戸籍抄本）

婚姻による氏名変更の場合：婚姻届受理証明書

【外国籍の方】※有効期限内のものでいずれか 1 つ

氏名または国籍が変更の場合：在留カード・パスポート

６．免除申請早見表

免除申請がある場合は以下をご確認の上、電子申請システムより免除申請の手続きをしてください。

	申請の種類	対象者	筆記試験科目						申請書類	添付書類有無	免除申請有効期限の有無
			外国語		日本地理	日本歴史	一般常識	通訳案内の実務			
			英語 仏語 西語 独語 中国語 伊語 韓国語	その他							
(1)	英検免除	実用英語技能検定 1級合格者	英語免除						公益財団法人日本英語検定協会発行の**「合格証明書」（和文のみ有効）**を添付してください。	有	**無**
(2)	TOEIC免除	TOEIC(以下①～④のいずれか) ①Listening&Reading Test 900点以上 ②Speaking Test 160点以上 ③Speaking&Writing Testの内、Speaking Test 160点以上 ④Speaking＆Writing Testの内、Writing Test 170点以上 ※全て公開テストに限る。IPテスト（社内・学内で実施されている団体特別受験制度）は対象外。	英語免除						EducationalTestingService発行のTOEICテストの**「公式認定証(OFFICIALSCORE CERTIFICATE）」**を添付してください。 **※4月試験からのデジタル認定証も可（URL送付は不可）** ※公式認定証は試験日から2年以内であれば再発行可能です。 ※海外で受験した場合はその国ごとに実施団体が違うのでご注意ください。	有	**有 2022.4.1以降に取得した得点**
(3)	仏検免除	実用フランス語技能検定試験 1級合格者	仏語免除						公益財団法人フランス語教育振興協会発行の**「文部科学省後援実用フランス語技能検定試験合格証明書」（和文のみ有効）**を添付してください。	有	**無**
(4)	西検免除	スペイン語技能検定試験 1級合格者	西語免除						公益財団法人日本スペイン協会発行の**「合格証書」または「合格証明書」**を添付してください。	有	**無**
(5)	DELE免除	DELE(以下①～③のいずれか) ①DELE C1 ②DELE C2 ③DELE Superior	西語免除						Instituto Cervantes発行の**「ディプロマ」**を添付してください	有	**無**
(6)	独検免除	ドイツ語技能検定試験 1級合格者	独語免除						公益財団法人ドイツ語学文学振興会発行の**「合格証明書」（和文のみ有効）**を添付してください。	有	**無**
(7)	中検免除	中国語検定試験 1級合格者	中国語免除						一般財団法人日本中国語検定協会発行の**「中国語検定試験合格証明書」(和文のみ有効)**を添付してください。	有	**無**
(8)	HSK免除	HSK(漢語水平考試）6級180 点以上 （旧HSK 高等試験9級以上）取得者	中国語免除						中国政府教育部孔子学院总部発行のHSKの**「成績報告」**を添付してください。 ※2020年8月より主催団体名称は「教育部中外语言交流合作中心」に変更。	有	**無**
(9)	伊検免除	実用イタリア語検定試験 1級合格者	伊語免除						イタリア語検定協会発行の**「合格認定証」または「合格証明書」**を添付してください。	有	**無**

	申請の種類	対象者	筆記試験科目						申請書類	添付書類有無	免除申請の有効期限の有無
			外国語		日本地理	日本歴史	一般常識	通訳案内の実務			
			英語 仏語 西語 独語 中国語 伊語 韓国語	その他							
(10)	ハン検 免除	ハングル能力検定試験 1級合格者	韓国語 免除						特定非営利活動法人ハングル能力検定協会発行の**「1級合格証明最高峰カード」**を添付してください。	有	**無**
(11)	TOPIK 免除	TOPIK（韓国語能力試験） 6級230点以上取得者	韓国語 免除						国立国際教育院発行のTOPIKの**「成績証明書」**を添付してください。	有	**無**
(12)	旅取 免除	以下のいずれか 【日本旅行業協会（JATA）実施】 総合旅行業務取扱管理者 一般旅行業務取扱主任者 一般旅行業務取扱主任者認定証保有者 【全国旅行業協会（ANTA）実施】 国内旅行業務取扱管理者 国内旅行業務取扱主任者 国内旅行業務取扱主任者認定証保有者 ※旅程管理主任者（ツアーコンダクター）の資格は対象外			免 除				一般社団法人日本旅行業協会（JATA）または一般社団法人全国旅行業協会（ANTA）が発行する**「合格証書」**を添付してください。	有	**無**
(13)	歴検 免除	歴史能力検定日本史1級 歴史能力検定日本史2級 のうちいずれか				免 除			歴史能力検定協会発行の**「合格証明書」**を添付してください。	有	無
(14)	センター 日本史B 免除	大学入試センター試験 「日本史B」60点以上 ※対象は「2019年1月実施」「2020年1月実施」の試験のみ。 ※独立行政法人大学入試センター法（平成11年法律第166号）第13条第1項第1号に基づく ※令和3年1月より実施の大学入学共通テストは対象外。				免 除			以下2点からどちらかを添付してください。 ①同センター発行の**「試験成績通知書（ハガキ）」（両面）** **②同センター発行の得点を示す書類（開封無効・要郵送）** ※封筒の中身の確認が必要な場合は控えとして2通を同センターに請求してください。	有	**有 2018.4.1 以降に 取得した 得点**
(15)	センター 現代社会 免除	大学入試センター試験 「現代社会」80点以上 ※対象は「2019年1月実施」「2020年1月実施」の試験のみ。 ※独立行政法人大学入試センター法（平成11年法律第166号）第13条第1項第1号に基づく ※令和3年1月より実施の大学入学共通テストは対象外。					免 除		以下2点からどちらかを添付してください。 ①同センター発行の**「試験成績通知書（ハガキ）」（両面）** **②同センター発行の得点を示す書類（開封無効・要郵送）** ※封筒の中身の確認が必要な場合は控えとして2通を同センターに請求してください。	有	**有 2018.4.1 以降に 取得した 得点**

	申請の種類	対象者	筆記試験科目							入力内容 申請書類	添付書類有無	免除申請有効期限の有無
			外国語		日本地理	日本歴史	一般常識	通訳案内の実務				
			英語 仏語 西語 独語 中国語 伊語 韓国語	その他								
(16)	前年度一部合格科目免除	2022年度筆記試験で 一部科目に合格の方 ※2022年度筆記試験結果通知にて**「合格」と記載された該当科目のみ**対象とする ※外国語科目を申請する場合は2022年度と同一外国語に限る。	当該科目を免除							申請科目を入力・選択し、 2022年度の**受験番号（5ケタ）**を入力してください。 ※2022年度筆記試験結果通知を参照してください。	無	有 2023年度に限り有効
(17)	前年度 ５科目 合格者免除	**「筆記試験合格証書」を所持している方が対象。** ※2022年度筆記試験全科目（筆記試験外国語、日本地理、日本歴史、一般常識、通訳案内の実務）を受験し、合格した方（口述試験が不合格または未受験の方を含む） ※2022年度受験時に**免除が含まれている場合（但し、筆記試験結果通知に「通過」の科目がある方）は対象外。** ※外国語科目は2022年度と同一外国語に限る。	筆記試験を免除							2022年度の**受験番号（5ケタ）**を入力してください。 ※「筆記試験合格証書」に記載されている合格番号（9ケタ）ではありません。	無	有 2023年度に限り有効
(18)	（他の外国語での） 既合格者免除	平成30（2018）年度以降に全国通訳案内士試験合格の方で、他の外国語を受験する方				免除	免除	免除	免除	合格年度（2018～2022年）と合格言語、合格番号を入力してください。 （所持する全国通訳案内士試験合格証を参照。合格年度は試験日起算です。合格証に記載された発行年ではありません）	無	無
		平成29（2017）年度までに通訳案内士試験合格の方で、他の外国語を受験する方 また、通訳案内士法附則第3条第3項に基づいた観光庁長官が行う研修を修了していない方				免除	免除	免除		合格年度、合格言語、合格番号を入力してください。 （所持する全国通訳案内士試験合格証を参照。合格年度は試験日起算です。合格証に記載された発行年ではありません）	無	
		平成29（2017）年度までに通訳案内士試験合格の方で、他の外国語を受験する方 また、通訳案内士法附則第3条第3項に基づいた観光庁長官が行う研修を修了した方				免除	免除	免除	免除	合格年度、合格言語、合格番号を入力してください。 （所持する全国通訳案内士試験合格証を参照。合格年度は試験日起算です。合格証に記載された発行年ではありません） 通訳案内士法附則第3条第3項に基づいた観光庁長官が行う研修を修了した際の「研修修了番号」を入力の上、「観光庁研修修了証明書」を添付してください。	有	
(19)	地域限定通訳案内士試験 合格者免除	地域限定通訳案内士試験合格の方	当該外国語を免除							合格言語、合格した都道府県名、合格番号を入力してください。	無	無

※地域限定通訳案内士…平成29年度まで実施していた筆記試験の外国語科目（英語・中国語・韓国語）を国家試験と共通の試験問題を使用して都道府県が試験を実施する当該地域のみ（北海道・岩手県・栃木県・静岡県・長崎県・沖縄県）で有効な通訳案内士制度。研修等で養成される特例特区ガイドは該当しません。

7. 受験願書の入力方法

電子申請システム内の案内に従ってご入力ください。

電子申請システムトップページ　https://shiken.jnto.go.jp/

項目 ※は必須入力項目	注意事項	施行要領 掲載ページ
氏名　※	現在居住する国によって、入力方法が異なる。 ローマ字（Roman alphabet）の場合は、ブロックレターで正しく入力。 「姓」と「名」に分けて入力。（ミドルネームがある場合は項目にミドルネームだけ入力） ●日本国籍かつ日本居住　⇒　日本語（戸籍に記載されている氏名） ●外国籍かつ日本居住者　⇒　ローマ字（Roman alphabet） （在留カードに記載されている氏名） 在留カードに漢字氏名が入力されている方は漢字も可。 ●外国籍かつ外国居住者　⇒　ローマ字（Roman alphabet） （パスポートに記載されている氏名） ●日本国籍かつ外国居住者　⇒　ローマ字（Roman alphabet） （パスポートに記載されている氏名） 特殊な漢字（画数が多く複雑なもの・微妙な違いで別の漢字となるもの・旧字体・異体字・別字体・中国語字体など）については、入力は出来ますが受験票等に反映されない場合があります。 表現できない漢字はカタカナ表記となります。	P5
フリガナ　※	外国籍かつ日本居住者は在留カードに記載されている通りに入力。	なし
性別　※	該当するものを選択する。	なし
生年月日　※	生年月日を西暦で入力。	P5
本籍（都道府県） （※本籍か国籍のいずれかを入力）	日本国籍かつ日本居住者のみ入力。本籍のある都道府県名を入力。※住所地ではありません。	P5
国籍 （※本籍か国籍のいずれかを入力）	外国籍の場合、または、日本国籍かつ外国居住者の場合のみ入力。 ●外国籍かつ日本居住者　⇒　日本語（漢字・カタカナ） （在留カードに記載されている国名等） ●外国籍かつ外国居住者　⇒　パスポートに記載されている国名の英語名 （名詞形/大文字・小文字組合せ/単語間１スペース） ●日本国籍かつ外国居住者　⇒　英語名（JAPAN）	P5
写真・写真撮影年月日　※	カラーまたは白黒で、最近６カ月以内に撮影した、無帽、上半身、正面、無背景で本人と確認できるもの。撮影日は申請日より６か月以内に撮影した年月を入力。	P7
郵便番号	現住所の郵便番号を入力。例 100-0000　ハイフンを入力。	なし
住所　※	日本居住者は住民票または在留カードの記載どおりに正しく、都道府県名も入れて入力。 また、外国居住者は国名を含めて入力。	P5
電話番号・携帯番号　※	必ず受験者本人の電話番号もしくは携帯番号を入力。外国の場合は、国番号も入力。 電話番号が複数ある場合は 13 の「緊急連絡先」に入力してください。	P5
FAX 番号	FAX がある方は入力。外国の場合は国番号も入力。	なし
緊急連絡先種別	自宅・携帯番号・勤務先・その他より選択し入力。	P5
緊急連絡先 電話番号・携帯番号・FAX 番号	携帯電話・勤務先等、日中に連絡の取れる連絡先番号、FAX 番号を入力。ない場合は空白でよい。	P5
希望する配慮事項	車いす、機器の使用など希望する配慮事項を入力。	なし
受験外国語　※	受験する外国語について施行要領を参照の上、選択して入力。 筆記試験を免除申請する場合も入力。	P6
受験第二外国語 （二カ国語受験の場合必須　※）	二カ国語受験の方は受験第二外国語を入力。 ※「受験第二外国語」は筆記試験免除を申請する外国語。免除申請ができない場合は受験不可	P10-11
簡体字・繁体字	受験外国語が中国語の場合は簡体字・繁体字どちらかを選択。 但し、中国語が免除の場合は入力しなくても良い。	P5
筆記試験受験地　※	施行要領で確認の上、受験地を選択して入力。 すべての受験科目に免除申請を行う方、または 2022 年度筆記試験合格証書をもち、筆記試験免除（前年度５科目免除）申請をする方は「免除」を選択して入力。 ※願書提出後の受験地の変更はできません。	P6
口述試験受験地　※	施行要領で確認の上、受験地を選択して入力。筆記試験の受験地との組合せを確認する。 ※願書提出後の受験地の変更はできません。	P6
免除科目申請 （二カ国語受験の場合必須　※）	申請する免除科目を選択。	P12-16

8. 受験票の交付

電子申請が承認（受験手数料のお支払いを含む）された方は、8月上旬よりマイページで受験票をご確認いただけます。郵送による交付はありません。

筆記試験の全科目について免除を受け、口述試験から受験される方についても、8月上旬よりマイページで受験票をご確認いただけます。

※受験票は試験当日に必ずご提示ください。スマートフォン等の画面に表示、または紙にプリントアウトしたものをご持参ください。

口述試験の詳細については、11月中旬より【マイページ】で公開する口述試験受験票をご確認ください。

9. 試験当日の注意事項について

試験当日の注意事項は、筆記試験・口述試験ともに受験票に記載します。
注意事項に違反した場合や係員の指示に従わない場合は受験ができなくなることがあります。

次の事項に該当する方は、他の受験者への感染症拡大のおそれがあるため、当日の受験はできません。
また、会場に来られても、お帰りいただく場合がありますので、予めご了承ください。

・体調不良（発熱、激しい咳、呼吸困難、息切れ、強いだるさ等）がある方
・感染症に罹患し治癒していない方　等

なお、これらを理由としての再試験の実施および返金はしません。

マスクの着用については、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることになりますが、試験当日はマスク着用、消毒、手洗い、うがいなど、各自で感染症拡大防止対策に十分ご留意ください。

10. 合格後の手続き

（1）試験の最終合格者が全国通訳案内士として認定されるには、居住地の都道府県知事あてに申請し、登録する必要があります。（登録には期限はありません）
登録に関しては、都道府県観光担当部署にお問い合わせください。

外国居住の合格者が全国通訳案内士として登録する場合、日本居住の代理人を定めて代理人の住所地に登録申請することとなります。この代理人となれるのは、原則、全国通訳案内士等の手配を行っている者、または登録が行われることを条件に手配を行うことを予定している合格者と手配契約（条件付のものを含む）を結んでいる者（個人または法人）です。外国居住の合格者が登録申請をする際には、代理人も都道府県の窓口に出向くことになります。

その他、全国通訳案内士制度に関しては、観光庁ホームページもご参照ください。
https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kokusai/tsuyaku.html

11. お問い合わせ先

「全国通訳案内士試験事務局」

電 話：04-7131-6200（土日・祝日を除く 10：00～17：00）

〒277-0831 千葉県柏市根戸 206-3 北柏ビル２F

12. 個人情報保護方針について

日本政府観光局（JNTO）個人情報保護方針

https://www.jnto.go.jp/site-info/privacy-policy.html

日本政府観光局（JNTO）は、2023 年度全国通訳案内士試験に係る事務手続き、試験運営業務等を日販セグモ株式会社に委託しています。

全国通訳案内士試験出願及び試験により取得した個人情報は、全国通訳案内士試験実施事務及び統計目的以外に使用することはありません。

受験を希望される方は、上記に同意のうえ、電子申請を行ってください。

電子申請システムトップページ　https://shiken.jnto.go.jp/

13. よくある質問（Q＆A）

Q．施行要領・願書はどこでもらえますか？
A．2021 年度から完全電子申請化に伴い、印刷物による施行要領・願書の配付は行っておりません。 出願方法、願書申請方法については電子申請ページ及び施行要領をご確認ください。 電子申請システムトップページ　https://shiken.jnto.go.jp/ ※施行要領は毎年変わります。最新の施行要領を確認してお申し込みください。
Q．受験地・選択外国語等を変更できますか？
A．願書提出後の受験科目・選択外国語・受験地・免除申請の変更・追加はできません。 なお、現住所・氏名・本籍等に変更があった場合にはマイページ上で変更が可能です。 8 ページの「3（3）申請後の変更について」をご確認ください。
Q．免除申請書類はコピーでも可能でしょうか？
A．アップロードの元となる手持ちの免除申請書類はコピーでも構いません。 但し、大学入試センターより発行される「開封無効」の書類を証明書類とする方はコピー不可となります。 開封せずに封筒のまま郵送でご提出ください。開封されている書類は無効です。 14 ページの「6.免除申請早見表」をご確認ください。
Q．免除申請に必要な受験番号を忘れてしまった。
A．お調べいたしますので、全国通訳案内士試験事務局（電話番号：04-7131-6200）までご連絡ください。
Q．免除申請書類の提出はどうするのか？
A．マイページよりアップロードをお願いいたします。12 ページの「5.免除申請について」をご確認ください。 大学入試センターからの「開封無効」書類のみ郵送で受け付けます。（送付先は 12 ページ参照）
Q．免除申請するための添付書類は、有効期限がありますか？
A．取得時期に制限がある資格（TOEIC・センター試験）以外の書類はいつのものでも構いません。 必要書類がお手元になく、発行元で再発行ができない場合は免除申請できません。
Q．試験会場はいつ頃わかりますか？
A．試験会場はマイページで公開する受験票に記載いたします。筆記試験は 8 月上旬、口述試験は 11 月中旬に公開予定です。試験会場に直接電話等で照会することは、固くお断りいたします。
Q．参考書や教科書の販売をしていますか？
A．日本政府観光局（JNTO）では、参考書や教科書等の販売は行っていません。 過去の筆記試験問題の一部（解答例含む）をウェブサイト上で公開しています。 https://www.jnto.go.jp/projects/visitor-support/interpreter-guide-exams/past-exam-archives/
Q．日本地理、日本歴史、一般常識、通訳案内の実務の出題範囲について知りたい。
A．詳しくは全国通訳案内士試験のガイドラインをご確認ください。 https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kokusai/content/001408467.pdf
Q．受験をキャンセルしたいのですが、受験手数料の払い戻しは可能でしょうか？
A．受験手数料支払後は、通訳案内士法第 10 条により、返金いたしません。 また、申請の取消しもできません。
Q．試験結果の内容について問い合わせたい。
A．試験得点及び合否の照会にはお答えできません。 また、採点に関するお問い合わせには応じられません。

※電子申請システム内でよくあるご質問を公開しております。合わせてご確認ください。

電子申請システムトップページ　https://shiken.jnto.go.jp/